

# 瑞浪 青年塾だより

第7号  
平成23年 発行  
3月5日  
中 日 本 生 涯 学 習 セ ン タ ー  
学 習 セ ン タ ー

平成二十二年度、第七回瑞浪青年塾が中日本生涯学習センターで二月十九日～二十日の一泊二日、三十三名（スポット参加含む）で開催されました。今回のテーマは「社会に何ができるか」です。初めに十五分間体験発表を美濃白川モラロジー事務所の榎間大祐様に、その後紀南モラロジー事務所の楠 大史講師に講義を担当して頂きました。青年として「社会に何ができるか」について、貴重な体験発表・講義を聞かせて頂きました。

## 今回のテーマ「社会に何ができるか」



〈体験発表をいただいた、榎間大祐様です。〉



〈講義を担当された楠講師。〉



〈懇親会のときに皆さんと記念写真。〉



〈朝の清掃奉仕の様子です〉



〈懇親会で皆さんと楽しい一時を過ごしました〉

### 青年塾参加レポート

中日本センター 野木 誠



今回は「社会に何ができるか」というテーマの下で体験発表、講義を聴講させていただきました。その中で印象に残ったことは「地域に貢献すること」「志と目標をしっかりと定めること」の二つです。

まず榎間大祐様の体験発表に出てきた「地域に貢献すること」について、昨今、町村での少子高齢化、介護の問題、若者の里離れなど、様々な問題が出ている中で地域に貢献する・・・というのは非常に難しいと思います。ですが自ら進んで地域を、自分の子を守っていく事、町村を盛り上げていくという事で市町村共により良い地域へと発展していけるのではないかなと思いました。

## 今回のメニュー

- 1、グラタン
- 2、ドリア
- 3、足立風たこ焼き
- 4、ピザ
- 5、参加者の方々の差し入れ

次に楠大史講師の講義の中で出てきた「志と目標をしっかりと定めること」これは、「地域に貢献すること」も少しリンクすると思うのですが何かを行う時、生半可な考え行動してしまえば、良い結果は生まれてきませんが、しっかりとした志、そして目標があればほんの少しでも良い結果が出てくるということだと思えます。物事を体現する為に志と目標を携え、地域社会に働きかけていくことで安心と平和が作られて行くのかなと感じることが出来ました。

私は今年度で退職して、地元に戻り働いていくことになっておりましたので、今回の青年塾では帰ってからの心構えを教えていただいた気がします。

参加者のご感想  
「社会に何ができるか」今回、自分が家族と共に来れた事、この幸せを感謝の気持ちと共に社会に恩返しをして行く。誰かが喜ぶ事、小さな事からでも何か自分から実践して行きたい。改めて気付かせて頂き有難う御座いました。

社会貢献活動のご紹介  
ただ今、中日本生涯学習センターでは、ペットボトルのキャップを集めています。皆様、ご協力の程、よろしくお願い致します。

平成二十三年度瑞浪青年塾  
参加者（スポット）募集中です。  
瑞浪青年塾に参加を希望される方は、ドシドシご応募ください。  
申し込み方法は電話・ファックス・メール等で受付けております。

### 次回のご案内

次回の瑞浪青年塾はテーマ「目標が人を動かす」です。期間は五月二十八・二十九日です。  
来年度もスタッフ一同皆様を心よりお待ちしております。お誘いあわせの上、ご参加下さい。

### 編集後記

今回の青年塾は、平成二十二年度最後の瑞浪青年塾でした。今回も前回に引き続き、たくさんの方に参加していただきました。今年度最後という事もあって、とても楽しく意義のある青年塾になりました。来年度からの青年塾をより盛り上げていくよう努めていきます。（吉岡）

中日本生涯学習センター  
電話 〇五七二六六三〇〇八〇  
FAX 〇五七二六六三〇〇三  
メールアドレス mizunami@moralogy.jp  
こちらに出欠のご返事をください